

グリーンウェイブ 2011 参加事例①（緑育出前授業と一体となった記念植樹）

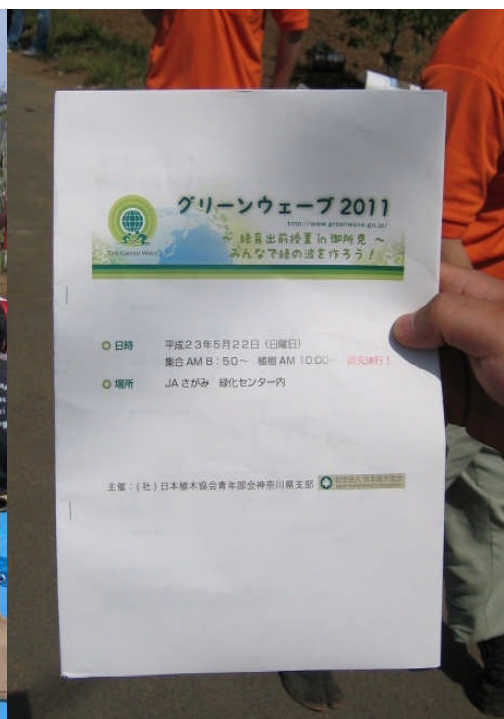
緑育出前授業 in 御所見 ～みんなで緑の波を作ろう！～

（社）日本植木協会青年部会神奈川県支部主催

青年部会神奈川県支部は、5月22日（日）、神奈川県藤沢市にあるＪＡさがみ・緑化流通センター敷地内で、緑育出前授業と一体となったグリーンウェイブ2011を開催した。神奈川県内の小学生34名およびその保護者、総勢70名の参加があった。

当日、神奈川県支部スタッフ14名は、今回新調したお揃いのオレンジのポロシャツに身を包み、午前七時半に集合した。諸準備を終え、八時五十分に参加者を出迎えた。その後九時より、ＪＡさがみ緑化流通センター長 福岡様にご挨拶いただき、イベントを開始した。

緑育出前授業では、各スタッフが分担制で作成したテキストをもとに、「私達の仕事紹介」、「地球環境における植木の大切さ」などをわかりやすく説明した。



その後、在来種である「シラカシ」を青年部会員が、実際に掘り取り、根巻きをし、植樹する作業を披露した。



その後グリーンウェイブの趣旨である現地時間午前十時に向け、子供達が神奈川県ゆかりの樹木、サルスベリ三種、テルテモモ三種、コニファー4種を植え、全員でカウントダウンし、定刻に一斉に水やりを行った。そして地球の自転と共に東から西へ世界に広がる「緑の波（グリーンウェイブ）」を創り出すことに成功した。その後、子供達は木版に自分で名前を記入し、担当した樹木に取り付けた。





作業終了後、支部長挨拶でイベントは終了した。

各々体験作業で使用した苗をお土産に帰路についた。スタッフは、片づけや支柱の取付作業を行い、すべてを終了した。

当日回収したアンケートでは、低学年は「木を植えるのが楽しかった、難しかった」等、実際に作業したことについての感想が多数を占め、中高学年は、「植木や植木屋さんの事がわかってよかった」等、うれしい感想が多数あった。保護者から「もっと緑育が広まればいい」との意見もあった。

その後は「私たちの仕事体験授業」として、ブルーベリー苗の鉢上げ、およびドウダンツツジ苗の根巻きを行ってもらった。

